

ワルファリンカリウム内服患者における PT-INR 検査後の抜歯についての臨床的検討

三田市・大槻歯科医院 大槻 榮人¹⁾²⁾³⁾ (歯科医師)

【共同演者】 藤田宏人¹⁾ 川上正良²⁾ 川上哲司²⁾ 大槻麻¹⁾
大槻有美¹⁾ 小正裕³⁾ 桐田忠昭²⁾ 高橋一也³⁾

※ 1) 三田市、2) 奈良県立医科大学口腔外科学講座 3) 大阪歯科大学高齢者歯科学講座

【緒言】

ワルファリンカリウムは抗血栓療法の中なかでも、抗凝固薬として幅広い疾患で用いられている。ワルファリンカリウムは至適な PT-INR 値にコントロールされていても変動することから、抜歯を含む小手術直前に測定することが望ましいとされている。

【対象・方法】

当院では PT-INR を血液凝固分析装置を用い術直前に測定している。今回われわれは 2011 年 4 月から 2019 年 4 月の間に測定をおこなった 29 例について、術直前の PT-INR 値、他の抗血栓薬の服用の有無、性差、年齢および抗血栓療法の対象となった疾患について検討し、さらに後出血の有無について調査をおこなった。

【結果】

患者は男性 18 例、女性 11 例、計 29 例で年齢は 30 から 89 歳(平均 69.7 歳)、PT-INR の測定は 60 回施行した。術直前の PT-INR 値は 0.95 から 2.9 (平均 1.69) で、1 例は 3.1 と高値で、もう 1 例は体調不良で抜歯はおこなわなかった。のべ抜歯回数は複数歯の抜歯を含む 58 回であった。後出血は 4 例でみられ、3 例は、止血シーネを装着し局所処置で止血し、1 例は再縫合で止血可能であった。

【まとめ】

抜歯後出血を認めたのは 4 例あった。INR が 2.0 以上であったが、歯牙、歯周組織の状態など局所的要因も関係するものと推測された。